

「しつけ」ってどうすればいいの？



しまさん かぶさん

いのるん & いかずきんズの

子育てるんるんニュース 3

☎こども家庭相談室 ☎38-0703

しつけに
困ったら相談
してみるん!



いのるん

子どもは、日常生活の中で失敗を繰り返しながら、多くのことを学んでいきます。そのようなとき、叱ってばかりでは子どもの前向きな姿勢が育ちません。「ほめる」「叱る」のバランスをとりながら、子どもの自主性を伸ばしていくことが大切です。

ほめる! 上手にできたらほめる

叱った後でも上手にできたときには、「〇〇できて、えらかったね」などと何が良かったのかを具体的にほめてあげましょう。小さな子どもには抱きしめてあげるなどのスキンシップをとることも大切です。

応援! 失敗は成長へのステップ

子どもが失敗したり、わがままをいって困らせるとき、むやみに叱っているのは親も疲れてしまいます。それらの行動を「成長のステップ」と前向きにとらえて、ゆとりある気持ちで子どもと接しましょう。いろいろなことにチャレンジできる子に成長してほしいものです。

待つ! できるまで待つ

臨機応変に行動したり、注意されたことをすぐに改めるなど、大人にとっては簡単なことでも子どもにとっては難しいもの。親の都合を押し付けるのではなく、子どもの状況を理解して、危険なとき以外は、じっと待つ必要もあります。

ヒント! 問題解決のヒントを与える

子どもの失敗を叱るだけでは、子どもは何がいけないのかわかりません。「〇〇してはダメ」という注意だけでなく、「〇〇したからこうなった」と具体的な説明をして、「今度からこうしてみたら?」と問題解決のヒントを与えてみましょう。それが学習です。

2 密着! 老人クラブ 実践編



「ウィズコロナ時代」のクラブ活動とは?

はくらくかい (白銀南地区) のまつた 白楽会(白銀南地区)の松田ナヲ会長に伺いました。

☎高齢福祉課 ☎43-9104

2か月ぶりの「集いの場」

感染防止のため、約2か月間活動を自粛していました。会員には一人暮らしも多く、みんな元気になっているかととても気がかりでした。そこで県内での感染が落ち着いてきた6月、他のクラブに先駆けて活動を再開しました。優先して始めたのは少人数での「お茶会」。毎週月曜日と金曜日、主に一人暮らしの会員と生活館で開催しました。会費は1人100円。マスクは各自持参。おいしいお茶とお菓子、久々の会話を楽しみながら、仲間との楽しいひと時に自然と笑顔があふれました。会員の健康維持と生きがいづくりには欠かせない「集いの場」です。

仲間と楽しくお茶会プラスの社会貢献

以前は福祉施設でボランティアをしていましたが、お休みしています。今は、お茶会の後、集まった会員と雑巾づくりに励んでいます。できあがった雑巾は小学校と中学校に200枚ずつ寄付します。白楽会の仲間と共に、これからも元気に地域を支えます。

クラブ活性化のコツ

「無理な勧誘はしない。会員にならなくても、たまにお手伝いしてもらっただけでもありがたい。」と考えています。時が経ち、自然とクラブに入ってくれる人も多いです。



満面の笑みで取材に応じる松田会長

ホームページ <https://www.city.hachinohe.aomori.jp>
携帯電話向けページ <https://www.city.hachinohe.aomori.jp/section/m/>
Twitter <https://twitter.com/HachinoheCity>
Facebook <http://www.facebook.com/HachinoheCity>



ホームページ 携帯用HP LINE



「広報」「市議会だより」が閲覧可!